

機械機器 1 手術台及び治療台
一般医療機器 手術台アクセサリ JMDNコード: 70469000

眼科 KI 枕 M

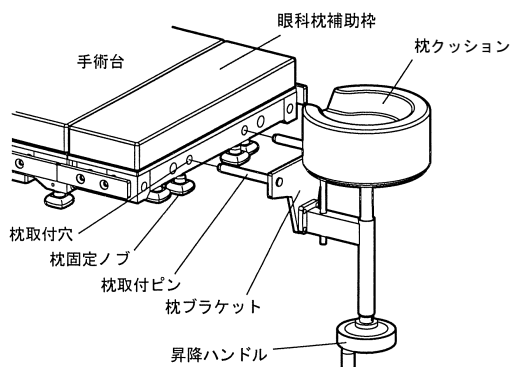
【禁忌・禁止】

〈使用方法〉

当社製の手術台 DR-2500・DR-2600・DR-3100・
DR-5700・DR-6200・DR-7800・DR-8000・DR-8600・
DR-8700・DR-8750・DR-8800、及びタカラ Belmont
(株)製の DR-600 以外には、取り付けて使用しないこ
と。[安全性が保証できないため]

【形状・構造及び原理等】

1) 外観図



2) 機器の仕様

- ①昇降ハンドル操作により、枕クッションを 100mm の範囲で昇降させることができます。
- ②枕ブラケットを手術台本体に差し込み、手術台の枕固定ノブ操作により着脱させることができます。
- ③許容負荷荷重: 枕クッションに 100N(10kgf)

〈動作保証条件〉

下記の条件にて使用すること。(ただし、結露しないこと)
周囲温度 10～40℃ 相対湿度 30～75% 気圧 700～1060hPa

【使用目的又は効果】

本機は、手術台に取り付け、手術及び治療時に患者の頭部を支えるために使用します。

【使用方法等】

1) 取付方法

- ①手術台の枕を取り外し、枕取付ピンを差し込み、取り付ける。手術台の枕固定ノブを時計回りに廻して枕ブラケットを固定します。
- ②枕固定ノブを操作し、固定と解除が正常に作動することを確認します。
- ③昇降ハンドルを操作し、枕クッションの昇降が正常に作動

することを確認します。

2) 使用方法

- ①昇降ハンドルを廻して、枕クッションを 100mm の範囲で高さを調節します。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- ①各ノブが確実に固定されているか確認すること。確実に固定されていないまま使用しますと、機器が動いたり落下するなどの思わぬ事故の原因になります。
- ②患者を乗せたまま昇降ハンドルを操作する時は、患者の頭を支えながら昇降ハンドルを操作すること。
- ③枕クッションに許容負荷荷重(10kgf)以上の負荷を加えないこと。機器の破損の原因になります。
- ④使用後は清拭作業を行い、機器を清潔に保ち使用すること。
[清拭作業が不十分な場合は、菌の発生により人体に影響を及ぼす場合があります。機器を清潔に保ちご使用ください。]
- ・使用可能な洗浄・消毒液の一例として、アルコール(70%)、4級アンモニウム系・塩化ベンザルコニウム(0.1～0.2%)をご使用ください。
- ⑤金属腐食性の強い消毒液(ポピドンヨード、次亜塩素酸ナトリウムなど)は使用しないこと。[本体の腐食の防止]

【保管方法及び有効期間等】

〈保管方法〉

・保管環境

周囲温度-20～60℃ 相対湿度 10～90% 気圧 500～1060hPa

〈耐用期間〉

- ・本機の耐用期間は 10 年です。(自己認証(当社データ)による)

※正規の使用法、保守点検、消耗品などの交換を行った場合に限る。

- ・クッション部品は使用環境によって異なります。

【保守・点検に係る事項】

〈使用者による保守点検(日常点検)〉

- ・手術台本体への接続状態の確認。
- ・外観の破損状態の確認。
- ・取付状態の確認。
- ・各部が正確かつ安全に作動することの確認。
- ・ゆるみ、ガタ、傾き、臭気などの確認。

以上について点検を行い、少しでも「おかしいな?」と感じたらすぐに使用を中止すること。

しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に

清掃を行なった後、必ず機器が正常にかつ安全に作動することを確認すること。

〈業者による保守点検〉

業者による保守点検を実施する場合は、弊社または医療機器修理業者などの有資格者へ依頼してください。

〈消耗品〉

ご使用によって磨耗や劣化、外観の変化、破損が予測される部品です。修理や交換の場合は保証の対象外となります。

- ・枕クッション

●機器を廃棄するとき

機器や交換した部品を廃棄するときは、感染予防を十分行ない、その時点での法規制に従い、適切な処理をしてください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 タカラメディカル株式会社 TEL：06-6499-3461
販売業者